

令和5年11月20日

市民の皆さまへ

庄原市役所 口和支所長
(総務室)

TEL 0824-87-2111

fax. 0824-87-2057

行政文書の発行について

令和5年11月20日付けの行政文書をつぎのとおり発行します。



<回 覧>

1	庄原市立西城市民病院職員募集のお知らせ	西 城 市 民 病 院
2	市営住宅(公営住宅)入居者募集のお知らせ	環 境 建 設 部 課 都 市 建 設 部 課
3	平成30年から令和4年までに発生した災害の復旧状況 No.30	環 境 建 設 部 課 災 害 復 旧 部 課
	しょうばら脱炭素地域推進ニュース	環 境 建 設 部 課 環 境 建 設 部 課
4	みんなつながる地域交流会 講演会	企 画 振 興 部 課 自 治 振 興 部 課
5	農業で儲けよう! 野菜と花の栽培講座の開催	企 画 振 興 部 課 農 業 振 興 部 課
6	庄原市上野総合公園だより	上 野 総 合 公 園
7	国営備北丘陵公園イベントのご案内	企 画 振 興 部 課 商 工 振 興 部 課
8	庄原さくらスポーツクラブだより	教 涯 育 学 部 課 生 涯 育 学 部 課
9	総合体育館だより	教 涯 育 学 部 課 生 涯 育 学 部 課
10	年末交通事故防止県民総ぐるみ運動	総 務 部 課 危 機 管 理 部 課
11	西城市民病院だより「すずらん」第50号	西 城 市 民 病 院

裏面へ続く

12	釜峰山 第35号	口 和 中 学 校
13	よちよち通信	口和子育て支援センター
14	ボランティアフェスティバル	庄原市社会福祉協議会 口和地域センター

<各戸配布>

1	しょうばら市議会だより第77号	議 会 事 務 局
2	元気かわら版 vol.206	庄原市社会福祉協議会 口和地域センター
3	ふれあいひろば	口和自治振興区
4	口和防災だより	口和自治振興区
5	#口和が好き	口和自治振興区
6	第17回 口和モーマー祭実行委員会便り	第17回 口和モーマー祭 実 行 委 員 会

庄原市立口和中学校

令和5年度 学校だより第35号

釜 峰 山

令和5年10月26日(木) 発行者：校長 大里 康暁

パスワード：k-honki

庄原市新人ソフトテニス大会！

10月21日(土)、庄原中学校を会場に、庄原市新人ソフトテニス大会が行われました。各校新チームとなって、初めての中体連の公式戦です。団体戦での優勝チームは、1月に行われる広島県大会に出場することができます。

10月10日(月)には、壮行式を行い、ソフトテニス部男女各部長である、積山 宜礼君 今井 美月さんが、出場に当たっての決意・目標を述べました。これまで積み重ねてきたことへの自信を感じさせる堂々とした挨拶でした。

大会当日は、強くはないものの、朝からあいにくの雨でした。気温も低く、コンディション調整も難しい中、女子が団体戦に挑みました。メンバーは、日野 光咲・幹戸 葵ペア、今井 美月・岩瀧 一加ペア、田部 花朋・福田 桃ペア、瀬野 響・柳川 陽菜ペアです。

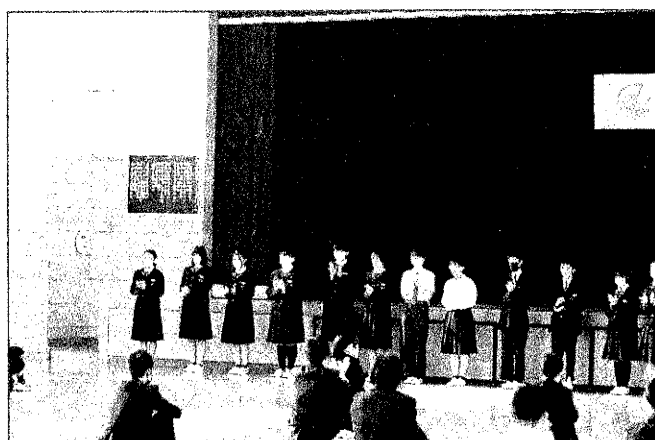
東城中学校・庄原中学校とのリーグ戦です。初戦の東城中学校は、力のあるチームだと聞いていました。降ったりやんだりの雨の中、試合が始まりました。試合を見て感じたのは、何よりも「みんな上手になっている！」ということです。夏に見た時よりも、格段に強いボールを正確に打てるようになっていると感じました。感嘆したのは、それが“全員”だったということです。ソフトテニス部として、それぞれが目標をもち、チーム一丸となって練習に取り組んできたことが伝わってきました。

本番では、練習以上のことは発揮できません。毎日本気で練習する中で、心・技・体すべてを鍛えないと、本番での好プレーは望めません。これだけの成長を見せた裏にある、チームワークと積み重ね、本気を思い、感動しました。

初戦に勝つことはできなかったものの、2戦目に勝利し、第2位に入ることができました！おめでとうございます！

この後は、個人戦が続きました。人数が少ないため、団体戦には出場できなかった男子も、いよいよ出番です。このころには、雨が上がり、動きやすい気温になってきました。

桑原 仁・積山 宜礼ペアの試合を見ました。桑原君の思い切りがよい鋭いプレーと積山君のボールに



食らいついていく気持ちが感じられる試合でした。よいゲームでしたが、残念ながら勝利することはできませんでした。また、積山 宜礼・積山 倫治ペアの試合も見ました。兄とともに倫治君が相手のボールの勢いに負けず、全力でラケットを振るプレーが印象的でした。

女子個人戦は、団体戦登録の4ペアが出場しました。その中で、今井・岩瀧ペアが、見事優勝しました！「去年2位だったから、今年は1位を！」という意気込みで臨みました。よく頑張りました！

それぞれの成長や思いが感じられるとてもよい新人戦でした。本番で自分の力を発揮するために、選手の皆さんがたゆまぬ努力により自信をもって挑む姿を見て感無量でした。春季大会まで多くの時間はありません。改めて自分たちの目標を設定し、冬季の練習を充実させてください。今後のさらなる成長を楽しみにしています！

また、応援に来られた多くの保護者の皆様、そして3年生、声援ありがとうございました。選手にとって、大きな励みになり、後押しとなったことと思います。今後ともご支援よろしくお願い致します。



庄原市教育フォーラム！

同日、庄原市民会館で庄原市教育フォーラムが行われました。今年度は、「科学」がテーマでした。

本校からは、2年生の岡本 歩さんが司会者として参加しました。今話題のJAXAの津田さんの講演もあるため、ホールにはたくさんの方が入っていました。その中で、壇上に上がり司会をするのはとても緊張したことと思います。そのような状況でも、しっかりと声を出し、歯切れのよい話し方で、無事大役を務めました。口和中学校代表として、よく頑張りました！

色々な場面で、2年生の話し方が聞き取りやすい、はっきりとしたものになってきたことに感心しています。自分の思いや考えを伝えるためには、明瞭に話すことはとても大切です。次期リーダーとなる2年生が、このような面でも大きく成長していることを頼もしく思います。これから、それぞれが大きな舞台で活躍することを楽しみにしています！



11月よちよち通信

冬の到来を感じさせる冷たい風。気温・温度が下がってくると、肌が乾燥しかゆくなります。また、感染症も流行する時期になりますので、うがい・手洗いを習慣づけて、予防しましょう。



12月の予定



すくすく子育て広場(高野)

日 時: 12月 5日(火) 10:00~12:00

場 所: 高野子育て支援センター
(高野保健福祉センター内)

参 加 費: 500円

持 参 物: 水分補給できるもの

参加締切: 11月27日(月)まで

☆『歯磨き指導・クリスマス工作』

宮崎歯科クリニックの歯科衛生士さんに来ていただきます。歯磨きの仕方を教えてもらいましょう。クリスマスアドベントカレンダー作りをします。

年末年始のお知らせ

12月29日(金) から1月3日(水)
までお休みします。

1月4日(木) より通常開設します。



※ご利用の際には、検温、手洗、消毒をお願いします。体調不良の場合は利用を控えましょう。

令和5年11月20日

発行: 口和子育て支援センター(口和老人福祉センター内)
庄原市口和町永田 415-4 Tel.0824-89-7070

一般社団法人里山こども未来会議
庄原市西本町 2-8-11 Tel.0824-74-6636

口和支所地域振興室市民生活係
庄原市口和町向泉 942 Tel.0824-87-2112

【開設日・時間】

●口和子育て支援センター●

月曜日、水曜日、木曜日(祝日を除く)

●比和子育て支援センター●

金曜日(祝日を除く)

●高野子育て支援センター●

火曜日(祝日を除く)

いずれも 9:00~12:00 13:00~15:00

なかよしサロン(比和)

日 時: 12月 15日(金) 10:00~12:00

場 所: 比和子育て支援センター(比和保育所内)

参 加 費: 実費負担(1,000円)

持 参 物: 水分補給できるもの

参加締切: 12月7日(木)まで

参加申込: 比和支所(0824-85-3001)

比和子育て支援センター
(0824-85-2608)

☆『正月飾り作り』

瀬尾京子さんに来ていただき、正月飾りを作ります。

子育て広場(口和)

日 時: 12月 21日(第3木曜日)
10:00~12:00

場 所: 口和子育て支援センター
(口和老人福祉センター内)

参 加 費: 実費負担(1,000円程度)

持 参 物: 水分補給できるもの

参加締切: 12月14日(木)まで

参加申込: 口和子育て支援センター
(0824-89-7070)

☆『正月飾り作り』

瀬尾京子さんに来ていただき、正月飾りを作ります。

ボランティア フェスティバル

入場
無料

庄原市で活躍中のボランティアの皆さんをご紹介します！
いろいろなボランティア活動の“楽しさ”“やりがい”を知って、
自分にもできる事、やってみたい事、見つけてみませんか♪

12/10(日) 10:00~13:30

庄原市ふれあいセンター コパリホール

◇ステージイベント 10:05~
県立広島大学 ウインドオーケストラ 

◇夏のボランティア活動
体験報告 10:40~

活動者、施設・団体の皆さんからお話を伺います😊

◇ボランティア団体の紹介 11:15~
各団体の日頃の活動を紹介します！

◇お楽しみ抽選会 12:05~

◇販売・福祉バザー 12:30~

美味しいものたくさん😊

◇庄原さくら学園
お菓子 

◇かわせみの家
お菓子 

◇共同作業所ゆめのいえ
作品販売

◇庄原地区女性連合会本町支部
うどん

福祉バザーも開催します！

ボランティアフェスティバル運営ボランティアを募集しています！

当日の準備やフリーマーケットのスタッフなど、お手伝いいただける方を募集します！一緒にボランティアフェスティバルを楽しみましょう！

庄原市社協(75-0345)までご連絡ください！

【主催】庄原市ボランティアセンター (社福)庄原市社会福祉協議会

【後援】庄原市

【お問い合わせ先】(社福)庄原市社会福祉協議会 地域共生推進課

☎(0824)75-0345 E-mail chiiki1@shakyoshobara-city.or.jp

ふれあいひろば

安心 元気な 口和の創造

【口和クイズ】 口和に伝わる昔話「ていてい小法師」
にでてくる化け物(なんちのひこ)の正体は何でしょうか？



口和自治振興区

〒728-0502 広島県庄原市口和町向泉 934-4

【電話】0824-87-2213 【Fax】0824-87-2135

【メール】kuchiwajichi@gmail.com 【設立】2010年



公式HP

Facebook

Instagram

YouTube

第45回くちわ文化祭「作品展」

今年も多彩な作品が会場を彩り、参加者は45回を記念したイベント「くじ引き」コーナーも楽しみました。

出展：小学生の絵画と俳句、書、陶芸品、油絵、生花、手芸作品、写真、高校生の絵画、わら細工、絵手紙、パッチワーク、短歌、フラワーアレンジメント、編み物、山野草の寄せ植え、伝筆作品

(口和自治振興センター 10/20~22)



- ◆くちわ文化祭 作品展
- ◆山野草の寄せ植え講座
- ◆図書館まつり
- ◆弁当試食会(配食サービス)
- ◆創年大学講座 社会見学
- ◆庄原市議会 市民と語る会
- ◆自治会グラウンドゴルフ大会(金田・宮内)
- ◆TAIKO 交流会
- ◆みどり園写生大会作品展
- ◆野菜集荷
- ◆地域マネージャー通信欄
- ◆11月の主な行事
- ◆おしらせ
 - ・創年大学講座
 - ・熊に注意
 - ・しめ縄飾り講座
 - ・自治振興センターの休館日
- ◆12月の行事カレンダー
- ◆クイズの答え



11月に雪が積もった！
撮影日11/18(土)



わが家にいけど
積雪中の写真だよ

口和地域データ

人口 1,740人(−45)

世帯数 749世帯(−4)

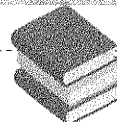
令和5年10月末日現在/増減：前年同月比

山野草の寄せ植え講座

桑野歩さんに指導していただき流木に山野草を寄せ植えしました。完成した作品は作品展に出品しました。(10/19)



図書館まつり



本の紹介コーナーとしおり作りや本の修理ができる体験コーナーを設け本と親しんでいただきました。当日配布した読書手帳が欲しい方は口和図書館にお越しください。(10/21~22)

弁当試食会（配食サービス事業）

民生委員さんや一人暮らし巡回相談員さん、高齢者の方と関わる方々や弁当の配達員さん等まんてん弁当の関係者が集まり試食会を行いました。

配食サービス事業では、高齢者世帯等へ見守りと調理支援を目的として月2回、1食500円のまんてん弁当を配達しており現在34名が登録されています。

アンケートでは「薄味で食べやすかった」「匂いのおかすがたくさん入っていて彩がきれい」「物価高で料金の維持が大変そう」など感想をいただき今後のお弁当作りにいかしていきます。

（11/1 配食サービス部）



創年大学講座「社会見学」



5年ぶりの社会見学は、広島市のおりづるタワーと平和記念公園を訪ね、平和の大切さや戦争の悲惨さについて考えました。

46名の参加者は「久しぶりじゃねえ」「前はどこ行ったんかいの？（※周防大島でした）」「今日は、よう歩いたで～」と道中も話題がつきることなく楽しいバスの旅となりました。

（11/16 老人部）



庄原市議会 市民と語る会



市民と議員が意見交換をする「市民と語る会」は市内21か所で行われ、口和地域は「議員定数及び議員報酬に係る市民アンケート結果と議会の役割」「人口減少社会における自治振興区活動の課題」について話し合いました。（11/13 口和自治振興センター）

自治会グラウンドゴルフ大会

農作業がひと段落する晩秋を迎え、自治会でグラウンドゴルフを楽しめました。（10/22）

大会結果

「金田自治会」12名

①西岡とし子②盛川すま子③盛川壽幸

「宮内自治会」23名

男性①谷川昭博②木原紀治③州濱陽孝

女性①大平加代子②小笠原キクエ③河野登美子



第17回 TAIKO交流会

今年で結成20周年を迎える口和備神太鼓と比和あづま太鼓を含む市内の6団体が集結し勇壮に和太鼓を演奏しました。

（11/12 口和自治振興センター）



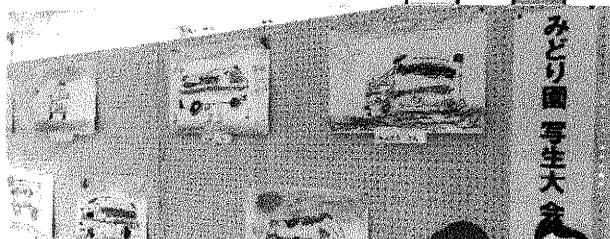
みどり園写生大会 作品展

22名の園児が画面いっぱい元気よく描いた消防車と救急車の絵を口和自治振興センターに展示しています。

日時 11/16(木)～28(火)

8:30～17:15

※休館日 土日・祝日



野菜集荷

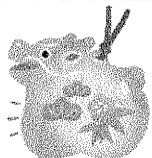
今年度3回目の野菜集荷では、カボチャやサツマイモ、大根、白菜等多くの野菜（201.6kg）が、地域から提供され学校給食で活用されています。学校では「野菜代が値上がりしているのでとても助かります。旬の野菜を子供たちに食べてもらえる。」と喜んでおられました。

（11/14 市PTA連合会口和支部）



地域マネージャー通信欄

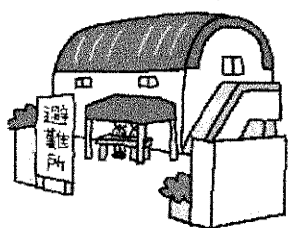
川上良美
(福祉事業担当)



●口和のデイホーム

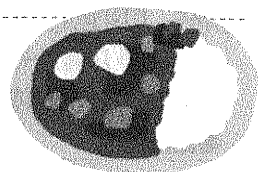
来月は早くも師走です。年齢とともに月日の経つのが速くなるように思います。口和地域では現在、5つの自治会でデイホームが開催されています。この時期それぞれのデイホームでは、新しい年に向けてしめ縄づくりや来年の干支の押絵の壁掛けを作ったりします。今年1年無事に過ごせたことに感謝し、新しい年が良い年になるようお願いを込めて作ります。

福田豊明
(防災事業担当)



●災害時のレシピ(カレーライス・炊き込みご飯)

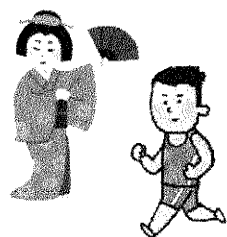
災害が起こった際、安心して食事を摂ることは、非常に重要です。先月は災害時を想定した麺料理のレシピを紹介しました。今月はカレーライスと炊き込みご飯について紹介します。



つぎの状況を想定し、食器の水洗いやゴミの少量化を目指したレシピです。

- ①水道が使えない事を想定し、水はペットボトルの水を使用する。
- ②調理の熱源はカセットコンロを使用する。
- ③ポリ袋に材料を入れて加熱するだけの「ポリ袋活用レシピ」を利用する。

松本晋太
(情報発信担当)



●秋の行事が目白押し

今年の秋は、庄原市内だけでも、再開されたり新しく立ち上げられたりするイベントが盛りだくさんです。また、地域のお祭りや学校行事も以前と同じかたちで行われるようになってきました。週末毎にお忙しくされているご家庭もあると思います。

口和でも、「モーモー祭」は終わりましたが、「走ろう会」や「口和文化祭・芸能祭」などの行事が続きますので、お時間がありましたら足を運んでみてはいかがでしょうか。

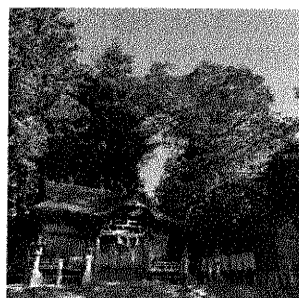
【11月の主な行事】

1日	弁当試食会(配食サービス事業)	16日	創年大学講座 社会見学	22日	防災教室(口和中1年生)
6日	図書館だより64号発行	18日	土曜本の会	23日	走ろう会・駅伝大会
6日	三者連絡会議(社協・振興区・市)	20日	ふれあいひろば172号発行	25日	くちわミュージックナイト
7日	健康寿命向上セミナー(認知症)	20日	防災だより57号発行	26日	芸能祭
8日	配食サービス事業	20日	#口和が好き8号発行	26日	休日開放図書館
13日	新月マルシェ	20日	健康マージャン講座		
14日	組織検討プロジェクト準備会	22日	配食サービス事業		

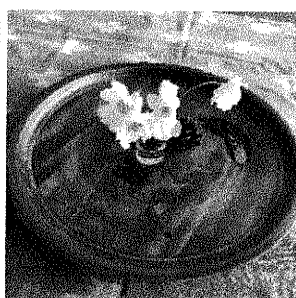
口和写真館『秋』



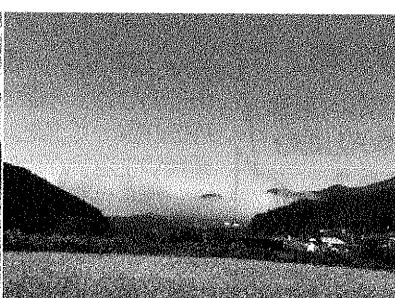
インスタグラムでも
ご覧いただけます



多加意加美神社



くちわの家で



朝霧と黒岩城



金田のコスモス畑

おしらせ

創年大学講座 第4回「お楽しみ講座」

日時 12月7日(木) 10:00~11:40

会場 口和自治振興センター

参加費 無料

対象 主に65才以上の方

連絡先 口和自治振興区・老人部

●紙芝居「広島カープ物語」

●シルバーハビリ体操

●閉校式



87-2213



熊に注意しましょう！

全国をはじめ口和地域内も今年は熊の目撃情報が激増しています。キノコ狩りやキャンプなど山に入ることの多い季節でもあります。被害を防ぐために事前の準備を心がけましょう。

- 山では音が出るもの(鈴・ラジオ)を携帯する
- 果実の早期収穫
- 生ごみを放置しないなど

しめ縄飾り作り講座

日時 ①12月4日(月)

②12月11日(月)

10:00~12:00

会場 口和保健福祉センター

参加費 200円

連絡先 口和自治振興区 87-2213

口和子育て支援センター 89-7070

歳神様を迎え新年の祈りを込める「お正月」

手作りのしめ縄飾りで新しい年を迎えましょう！

初めての方もお気軽にご参加ください。



口和自治振興センター

年末年始の休館日

期間 12月29日(金)~1月4日(木)

連絡先 庄原市役所口和支所 0824-87-2111

12月の行事カレンダー



[]内は、口和地域のゴミ収集日です。

★印・詳細は「おしらせコーナー」をご覧ください

日程は諸事情により変更する場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
					1 [燃えるごみ]	2
3	4 ①しめ縄飾り講座★ [プラスチック類]	5 行政文書 [燃えるごみ]	6 配食サービス事業 [その他紙類]	7 創年大学講座★ [容器包装プラスチック]	8 [燃えるごみ]	9 土曜本の会
10 [施設開放日]	11 ②しめ縄飾り講座★ [燃えないごみ]	12 [燃えるごみ]	13 [新聞]	14 [容器包装プラスチック]	15 [燃えるごみ]	16
17 休日開放図書館	18 [ピン・カン 有害]	19 [燃えるごみ]	20 配食サービス事業 行政文書 [その他紙類]	21 [容器包装プラスチック]	22 [燃えるごみ]	23
24 [施設開放日]	25 [ペットボトル 古着]	26 [燃えるごみ]	27 [ダンボール]	28 [容器包装プラスチック]	29 [燃えるごみ] [施設開放日]	30
31						

【口和クイズ】答え (クイズは1面)

クイズ 口和に伝わる昔話「ていいてい小法師」にててくる化け物【なんじのひこ】の正体は何でしょうか？

答え 鯉

(南池で飼われていた鯉)



参照「ひろしまの民話」

中国放送 昭和56年



【あらすじ】永田にあった荒れた古寺に旅の坊主が泊ると「①ていいていこぼうし」「②ほくさんのぎゅう」「③とうさんのばず」「④なんちのひこ」「⑤さいちくりんのいっそくのけい」と名乗る化け物たち達が襲ってきた。恐れ知らずの坊主は、化け物達が古寺にまつわる道具や生き物が化けていることを見破り、見事追い払い、その寺の住職となった。

化け物たちの正体は、①木槌 ②牛 ③馬 ④鯉 ⑤鶏

昭和40年頃、寝る前にお爺さんから話してもらった昔話が「むかしあったげなお」で始まり「それでむかし、かつぶし」で終わったそうです。

日頃の備えで支え合いのまちを

防災だより

発行：口和自治振興区

〒728-0502 広島県庄原市口和町向泉 934-4

【電話】0824-87-2213 【Fax】0824-87-2135

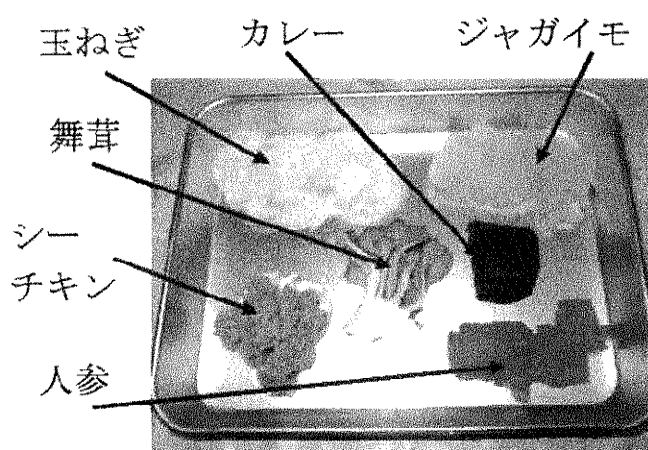
【メール】kuchiwajichi@gmail.com

災害時のカンタン料理レシピ [2]

先月は、災害時の簡単料理として水で戻す麺料理について紹介しましたが、我々日本人の食文化の中心は米であり、かつて気は氣と書き、米を食べなければパワーが出ないと教えられてきました。今月は米を使った、①ポリラップを使った簡単カレーライス ②ポリラップを使った簡単炊きこみご飯について紹介します。

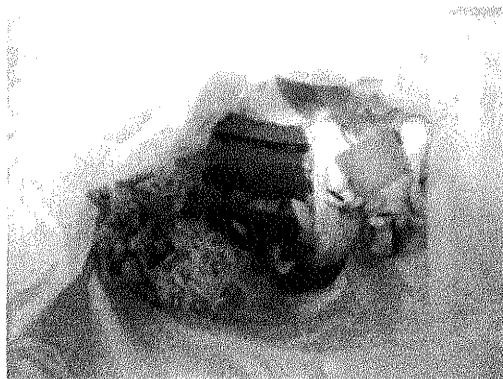
1) ポリラップを使った簡単カレーライスの準備 1 人分 (具材)

① 準備した材料



玉ねぎ : 50g 薄切り
舞茸 : 20g ほぐす
シーチキン: 30g
人参 : 30g 薄切り
カレールウ: 1 個 きざむ
ジャガイモ: 50g 薄切り
水 : 50ml

②



上記材料をポリ袋(耐熱 110℃)に入れて袋の上からよくもみ袋の中の空気を抜いて、袋の上を結びます。(下記 2)の米 0.5 合・水 100cc (米の 1.2 倍)を一緒にポリ袋に入れても構いません。

2] ポリラップを使った簡単カレーライスの準備 1人分(ご飯)

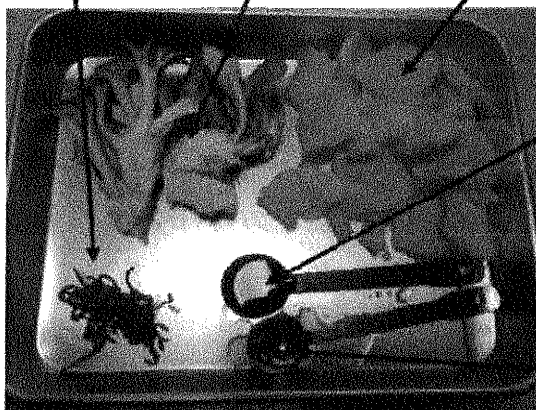


米 0.5 合・水 100cc (米の 1.2 倍) をポリ袋(耐熱 110℃) に入れ袋の中の空気を抜いて、袋の上を結びます。

災害時水は貴重ですので、洗米はしていません。

3] ポリラップを使った炊き込みご飯の準備 1人分(具材)

① 塩昆布 舞茸 油揚げ

薄口
醤油

みりん

塩昆布	: 大さじ 1
舞茸	: 1/4 パック
油揚げ	: 1/2 枚
	1 ロサイズに ちぎる
薄口醤油	: 大さじ 1.5
みりん	: 小さじ 1

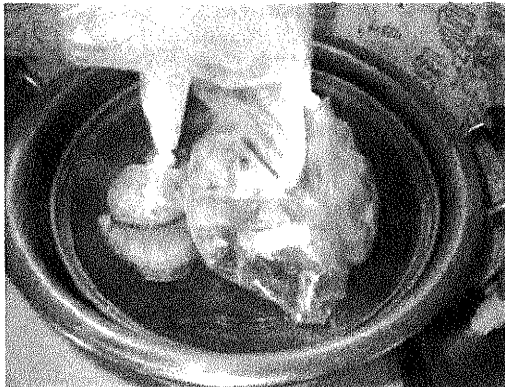
②



上記 2] と同様に、米 0.5 合・水 100cc (米の 1.2 倍) と、上記具材をポリ袋(耐熱 110℃) に入れ、袋の中の空気を抜いて袋の上を結びます。

4] 上記で用意した材料を鍋に入れる

①



カレー具材、炊き込みご飯、白米の入ったポリ袋を熱湯に入れ 30 分煮沸しました。

②



鍋の中に金ザルを敷く

鍋の中に金ザルを敷くのがポイントです。ポリ袋が直接鍋に触れると一部が 溶ける事があります。

③



出来上がったカレーです。



炊きあがったご飯です。

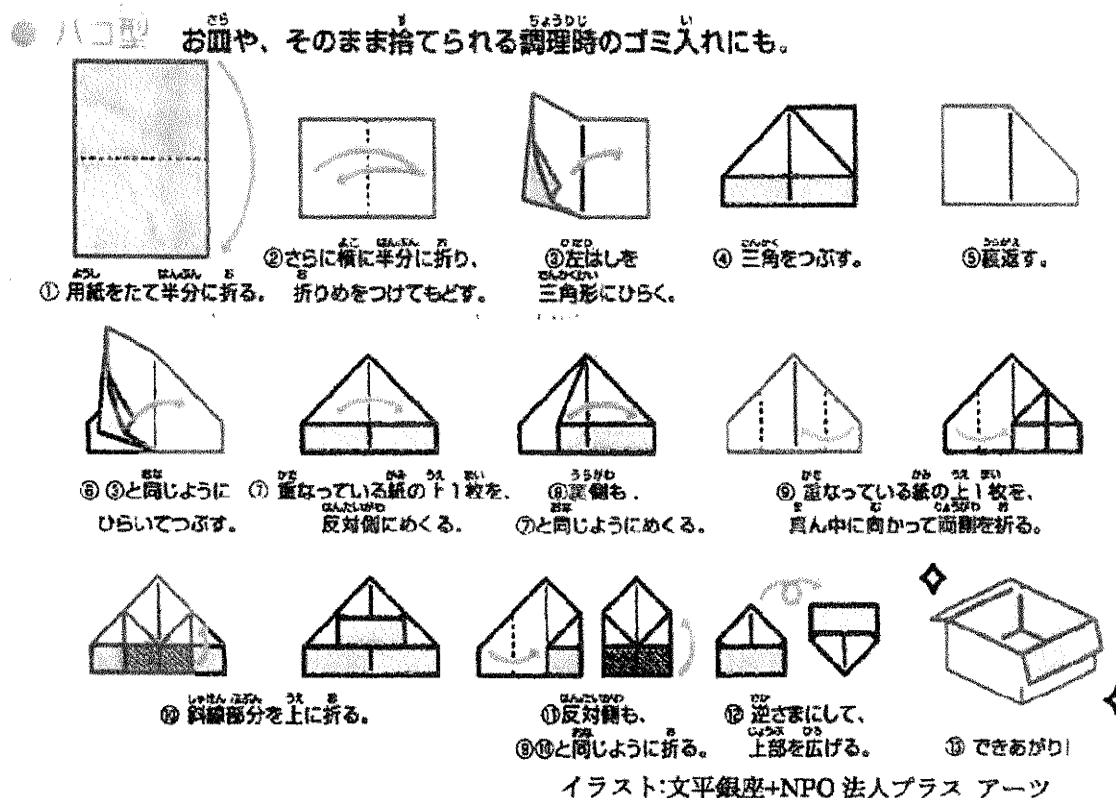
④



炊きあがった炊き込みご飯です。ポリ袋の上を切り取り、紙の皿に入れて召し上がり下さい。ポリ袋と紙の皿を処分すれば洗い物はありません。

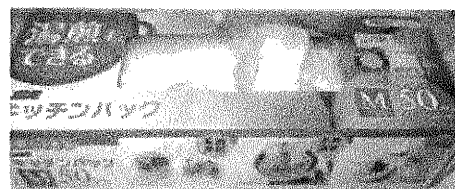
カレーとご飯を、ポリ袋の上を切り取り混ぜました。今回は、カレー具材とご飯を別々に調理しましたが、1つのポリ袋で調理しても O.K です。

5]新聞広告を使った皿の作り方



6]調理するにあたってのポイント

- 1) 使用するポリ袋は必ず耐熱 110℃以上の表記のある、高密度ポリエチレン袋を使用します。



家庭用品品質表示法に基づく表示	
原料	ポリエチレン
耐熱温度	110℃
耐冷温度	-30℃
寸法	法:外形/250×350mm 厚さ/0.01mm
枚数	50枚
取扱い上の注意: 火やそばに置かないでください。	
表示	宇都フィルム株式会社
	山口県山形小野田市大字小野田1020

- 2) 具材の入ったポリ袋を鍋に入れる際は、

必ず鍋の中に金ザルを敷いてその中に入れます。

ポリ袋が直接鍋に触れると一部が 溶ける事があります。

- 3) ポリ袋に入れる材料は、1人分か多くても2人分にします。湯煎ですので、多すぎると火が通りにくくなります。

災害時を想定し、簡単に作れる料理を紹介しました。他にもネット上には様々なレシピが紹介されています。「百聞は一見に如かず」簡単にできるので、一度避難生活をシュミレーションしながら作ってみてください。

もっと知りたい口和をお届け！ #口和が好き

発行：口和自治振興区

〒728-0502 広島県庄原市口和町向泉 934-4

【電話】0824-87-2213【Fax】0824-87-2135

【メール】kuchiwajichi@gmail.com

情報発信を担当する地域マネージャー・松本が、深掘り取材で意外と知らない口和の魅力をお伝え!! インスタグラムやフェイスブックでも発信中!!



公式 HP



Facebook



Instagram



YouTube

五感で自然を楽しむ 口和町湯木 ふくふく牧場 福元紀生さん 奈津さん

牧場でトレッキング

みなさん、自然放牧での酪農とその牛乳で作るチーズでおなじみの「ふくふく牧場」では、トレッキングもできるのをご存知でしょうか。

トレッキングとは「簡単な山登り」のような意味ですが、ふくふく牧場の場合は「山の放牧地を散策」といった感じになります。

乳牛を山に放牧する山地酪農をしているふくふく牧場の放牧地は、牛はもちろん木々や草花、虫たちでとても賑やかです。そんなたくさんの生き物に包まれてのトレッキングは、都会から来られるお客さんたちにとってはなかなか無い場面です。

そこで感じられる喜びや安らぎはふくふく牧場の大きな魅力のひとつで、「うちの子、こんなに走るんですね」と驚くお母さんや、「まるで親戚の家に来たみたいにくつろげます」といった声もあり、何度も足を運ばれる方もいるそうです。

その放牧地で牛たちは草を食べ、その排泄物が土の栄養の一部になり草木が育つという循環があり、その循環のなかから人間は牛乳を頂いています。

五感で感じる牧場

福元紀生さん、奈津さんご夫婦が経営するふくふく牧場は、そんなたくさんのいのちに満ちた自然のなかにいることで感じられる喜びを大切にしたい、というふたりの想いをもとにつくられています。

ふくふく牧場の放牧地にいると、目に映る緑だけでなく、季節の草花の薫り、頬をなでる風、鳥や虫の声

など体中に染み渡るものがあります。そして、たくさんのいのちのなかで育った牛たちから頂いた牛乳からつくられるチーズ。これで「五感で感じるふくふく牧場」の完成です。

そんな素敵な場所が口和にできるまでには、胸の詰まるような、その一方でひとの優しさのつながり、そしてふたりの想いを感じる出来事がありました。



ふくふく牧場での乳搾り体験と放牧地

3.11

2011年3月11日午後2時46分。東北地方の太平洋沖でマグニチュード9.0の大地震が発生。

その時、紀生さんと奈津さんは広島県いわき市田人町（たびとまち）貝泊（かいどまり）で自然放牧の牧場づくりを始めて3年目でした。

そこへ、東京電力福島第一原子力発電所の事故が発生。大気中に放出された放射性物質は、目には見えませんが当然貝泊の牧場にも飛来します。

確実に大変なことが起きているけど、この先どうなるかわからない。立入ができなくなるかもしれないし、逆にここから動けなくなってしまうかもしれない。初めて経験する原発での大事故に対して、政府や自治体は安全と危険を判断する基準も避難計画もなく、どう判断すればよいかわからないなか、ふたりが取った行動は東京への避難です。避難先では「福島県のナンバーは見られないほうがいい」と言われたりしたそうです。

混乱する状況のなかで東京にいても情報は少なく、残してきた地域のみなさん、そして牛や動物たちのことも気掛かりです。居ても立っても居られず、結局東京で過ごしたのは数日のみ。物が不足しているのはわかっていたので、物資を満載して地震で荒れた常磐道を福島へ舞い戻りました。

4月11日、再び大きな地震。牧場で使っていた山水が止まりました。農林水産省からは牛の放牧や沢水を飲ませないよう通達があり、牛の水と食料の調達が必要になりました。

牧場や住居の復旧作業、水や牧草の調達などたくさんの方に追われる紀生さん。ガイガーカウンター（放射線測定器）を購入して牧場の放射線量を定点観測し、なるべく信用できる情報を集めるのが奈津さんの役目でした。

大好きだった牧場の野山で採れる山菜も食べられません。大きな喜びだった自然からの頂きものが危険なものになってしまいました。

いわき市田人町貝泊へ

牧場づくりのスタートはその数年前に遡ります。

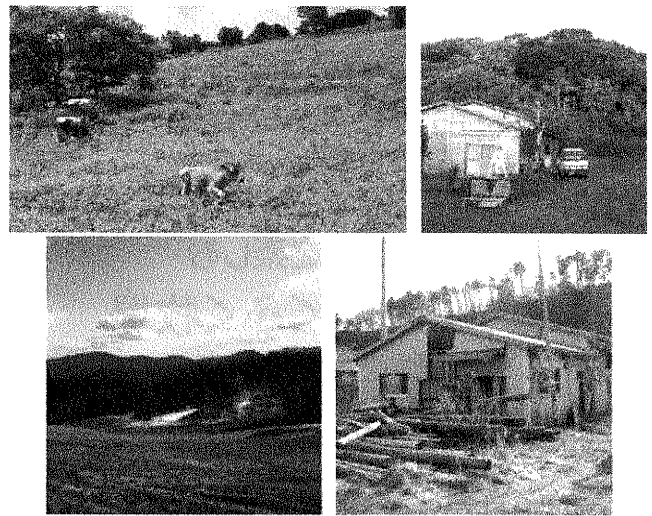
紀生さんと奈津さんは、里山での自然放牧で、なるべく機械には頼らず、自分達でチーズを作り、いろんな人たちにも自然を感じてもらえるような牧場をつくれる10ヘクタール以上の土地を探していました。ただし、お金もたくさんあるわけではなく、条件にあう場所はなかなかみつかりません。

3年後の2008年、ようやく出会ったのがいわき市田人町貝泊の40ヘクタールの牧場跡でした。建物はボロボロで、ほとんど廃墟と荒野です。ただ、そこはふたりの心を奪うには十分に素敵な場所でした。

ここで一生やっていこうと決めたふたりは、2008年4月から開拓をはじめました。そんなふたりのために貝泊をはじめ地元のみなさんが力を貸してくれました。まず住むところも無かったので住居を補修するところから始めて、8月には最初の仔牛が牧場にやってきました。

教員免許を持つ奈津さんは地元の小学校で臨時教員をしながら、地元のみなさんの協力もあり、お金ではなく時間をかけて少しずつ牧場ができていきました。

2年後の2010年秋からは、ようやく念願のチーズ販売をはじめることができ、牧場が少しずつ軌道にのりはじめました。



田人町貝泊の牧場

そんなとき「福島第一原発事故」は起きたのでした。

決断

一時避難した東京から福島に戻って2カ月。起きた出来事の大きさに右往左往しながら、目の前のことをひとつずつこなす日々。雨どいの下や薪ストーブで大きく振れるガイガーカウンター。

そんななかで、いわき市がはじめた「安心・安全キャンペーン」に放射性物質の検査の話もなく出品を誘われたことに対する違和感。

この貝泊の野山で、たくさんのいのちの循環のなかで牛を飼うことをなにより大切にしてきたふたりにとって、放射性物質が場所を変えながら野山の循環のなかに留まり続け、それを避けるために違う方法で牛を飼うというのは、夢を捨てるに等しいことでした。

2011年6月

ふたりは貝泊を出ることを決断します。

3年間、まさに手塩に掛けてつくってきた牧場への未練。お世話になったみなさんにこの地を離れることを伝える辛さ。そして、みなさんを残していくことへの後ろめたさ。「子どもだって住んでるのに……」と言われたこともありました。

本当に重たい決断であり、強いられた悲しい決断でした。ここに居る人たちは誰一人悪くないのに。

2011年7月

牛、鶏、羊、犬そして人。牧場みんなでの避難を決めたふたりがまず頼ったのは、紀生さんが修行時代を過ごした三次の安瀬平牧場さんでした。ご近所の牛舎に牛を受け入れてもらい、アルバイトをしながら次の拠点探しをはじめました。

一方、なかなか気が進まなかった東京電力へのADR（裁判外紛争解決手続）という手続きでの請求も行いました。

原発事故では多くの方が、特にふくふく牧場のように自然に近い暮らしをされている方がその基盤を失いました。なぜなら、目に見えない放射性物質が自然のなかで滞留しつづけているからです。全体として広がり薄まることはありますが、どうしても集まってしまう場所があります。いつも最後まで残る水たまり。雨どいの下。吹き溜まりになるような場所。そして、動植物にも取り込まれていきます。事故から12経ったいまでも、先日のラジオでキノコを取り上げていたのですが、番組のなかで東日本では山のキノコに注意する必要があることを伝えていました。

このような事態を招いておきながら、しんどい避難生活のなかで、東電に対するADRの手続きはとても煩雑で身も心も擦り減らされる作業でした。そのためなかなか作業は進みません。担当の弁護士さんは親身になってこの事態に憤り、請求を行うべきだと励ましてくれましたが、東電とのやりとりに心を感じることはありませんでした。貝泊の牧場は「お金ではなく時間をかけて」自分達でつくることを大切にしていました。ところが、そのような「領収証の無いもの」はほとんど評価されませんでした。それどころか、当然と思える話が通じず、ふたりの想いや大切にしてきたことへの理解も感じられませんでした。

しかし、このまま何も無かったことにされたくない、自分達の気持ちを伝えることだけはしておきたいという想いで、最後の最後、時効直前に手続きを行いました。ただ、受け取った金額もこれまでかけてきた労力と時間を考えると到底納得できるものではありませんでした。

口和へ

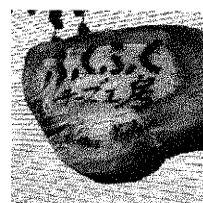
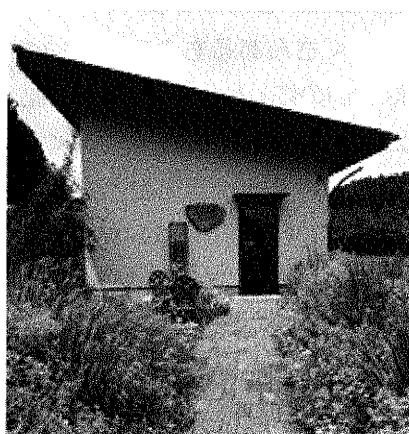
口和町湯木の獣医さん、平田先生の耳に安瀬平牧場に福島から避難した人がいるという話が入るのにその時間はかかりませんでした。平田先生のお人柄をご存知の方なら十分お分かりでしょうが、当然この状況を見て見ぬふりはできません。

早速、どこかにいい場所がないか当時口和自治振興区の事務局長だった同級生の清水さん（現区長）に相談します。ご存知の通り、清水さんも当然この話を聞いて見て見ぬふりはできません。

平田先生と清水さんは、口和町内でふたりが想うような牧場になる土地がないか方々をあたってくれました。そして、いくつか見せてもらったなかでいまの場所に決め、引越しの準備がはじまりました。

こうなると話はとんとん拍子で進み、地元湯木のみなさんが牛舎の整備や家の片付けなどいろいろ手助けしてくれました。

貝泊のときと同じようにみなさんの協力があって、2012年4月には口和町湯木に引っ越すことができました。翌2013年3月にはチーズ工房がオープンしチーズの販売を再開することができました。



ふくふく牧場チーズ工房

ただ、引っ越したものの、やはり心はまだ貝泊にありました。ほくには、その先にあったであろう未来を奪われる経験がないので想像しかできないのですが、あれだけの想いをもって、あれだけの手間暇をかけ、あれだけのみなさんに協力してもらった場所なので、それは当然のことだと思います。

そこから立ち直ってまた頑張れるようになるには、相当な気力と相当な時間が必要だったと思います。

ここにしかないチーズ

口和に来てから、11年がたちました。

その間に、紀生さんと奈津さんは3人のお子さんに恵まれ、少しずつ切り開いた山肌には、芝生が生え揃っていきました。

たぶん、ここ300年くらいのあいだ、人間は時間を直線状に捉え、右肩上がりのグラフのように成長することを良しとしてきました。原子力発電所などは、グラフさえ右肩上がりになればいいという考え方の象徴のように思えます。

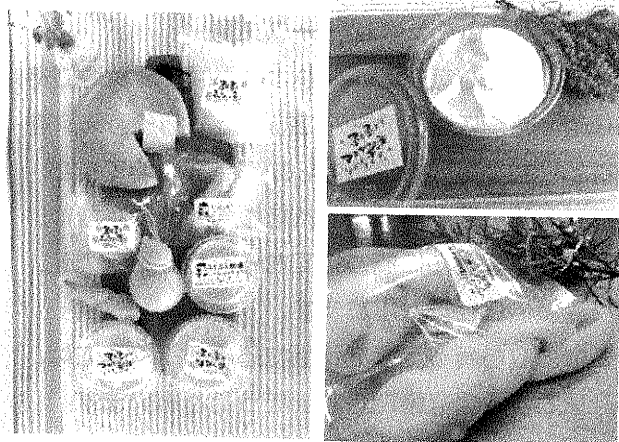
一方、紀生さんと奈津さんは、自分達の暮らしを、多くのいのちが季節とともにめぐる環(わ)のなかにあるものとして捉え、そこで得られる喜びを大切にしています。

原発事故によって暮らしに大きな影響を受けましたが、その前からその後もずっと、なにがあってもふたりの暮らしはそんな想いに貫かれ、そんな想いの結晶がふくふく牧場のチーズなんだと思います。

ほぼ全て自家栽培の牧草と放牧地の草で育てた牛から頂く自家製の牛乳だけを使ってチーズをつくる。やっていることは『アルプスの少女ハイジ』のアルムおんじ(ハイジのおじいさん)と同じです。

こんなチーズはそうたくさんあるものではないので、「もっと高く売ればいいのに」とか「もっと上手にやれば儲かるのに」と言う人もいて、かく言う私もそう思っていたりする部分もあったり無かったりするのですが、ふたりにとってはそうではないのです。

それは右肩上がりを目指すことであり、自分の想いからブレてしまうのです。自然の環(わ)から外れてしまうのです。そして、きっとアルムおんじに叱られてしまうのです。



いのちを感じる喜び

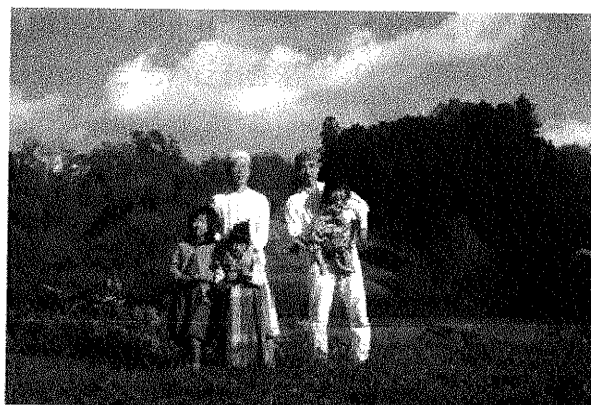
ちなみに、都会から来た子どもさんやお母さんも驚くほど走り回れたのは、アルムおんじのところでクラウが歩けるようになったのと全く同じメカニズムによる現象にしか思えません。五感全てで自然のなかのいのちを感じる喜びが、その子をより元気にし、クラウの意気地なしを直して歩こうと思わせてくれたのだと思うのです。

そしてこれは、ふくふく牧場がそういう場所になっている、紀生さんと奈津さんのふたりが大切にしてきたものが口和でかたちになってきている、その証拠だと思います。

里山での自然放牧で、なるべく機械には頼らず、自分達でチーズを作り、そしていろんな人たちにも自然を感じてもらえるような牧場をつくろうと、第一歩を踏み出した2008年から数えると今年で15年になります。

ふたりが思い描く牧場になるのはまだこれからかもしれませんが、ふたりの笑顔を見ていると、いのちを感じる喜びのなかで暮らしているのだけはわかります。

そんな想いを知ったうえで頂くふくふく牧場のチーズは、また一層特別な味わいになることでしょう。今日は、ありがとうございました。



地域マネージャー 松本 晋太

第17回 和牛の里 口和

第20回 庄原の祭典'21



10.7(土)・8(日)
10:00~16:00 9:00~16:00

『口和モーモー祭実行委員会便り・特別号』

発行日:2023 年 11 月 20 日

発行:口和モーモー祭実行委員会

実行委員会便り・特別号

和牛の里へ「モーモー祭」が
5年ぶりに帰ってきました!

牛の碁盤乗り



牛と子どもの綱引き



10.7(土) イベントスケジュール

- 10:00 開会式
- 10:30 広島県警察音楽隊「ザ・メイプルウインズ」
- 10:50 みどり園保育所
- 11:10 聖慈保育所
- 11:30 庄原タヒチアンガールズ
- 11:50 モーモー大行進
- 12:20 牛の碁盤乗り(庄原実業高校)
- 12:35 牛と子どもの綱引き
- 12:55 永田芸能保存会(田楽)
- 13:25 大月氏子および大月こども会(楽舞)
- 13:45 西田篤史・木山市長トークセッション
- 14:00 常定神楽継承団体 戸山会(神楽)
- 14:40 歌謡バラエティ ゲスト:中村美律子
- 15:30 ビンゴゲーム大会
- 15:50 終了予定

10.8(日) イベントスケジュール

- 9:00 開会式
- 9:20 不老仙太鼓
- 9:40 湯木芸能保存会(盆踊り)
- 10:10 和(なごみ)(よさこいソーラン)
- 10:25 Hobby-Buddy(バンド)
- 10:45 くちわフラメンコ
- 11:05 モーモー大行進
- 11:35 牛の碁盤乗り(庄原実業高校)
- 11:50 牛と子どもの綱引き
- 12:10 くちわフラガール(フラダンス)
- 12:30 向泉芸能保存会(田楽)
- 13:00 DA FLY CREW(ヒップホップダンス)
- 13:30 口和備神太鼓
- 14:00 花ノ本寿百弘社中(日本舞踊)
- 14:30 歌謡ショー ゲスト:辰巳ゆうと
- 15:20 ビンゴゲーム大会
- 15:40 閉会あいさつ
- 15:45 終了予定



特別号 ごあいさつ



去る、10月7日、8日の両日、新型コロナの影響で5年ぶりとなりましたが、第17回目となる「口和モーモー祭」を開催することができました。一時は天候が心配されましたが、両日で20,000人を超える多くの方のご来場を得て、事故無く、盛会裏に終えることができました。

モーモー祭は昭和62年の全国和牛能力共進会において、口和の牛が2大会回連続で日本一となったことを機に、郷土の誇りである和牛、そして共に歩いて来られた口和の先人の功績を称え、昭和63年に第1回目の祭りを立ち上げ、今回で17回目となりました。

地域の高齢化や人口減少が進み、限られた財源も厳しい状況の中で、口和地域に元気と笑顔を届けるため、役員の皆様、地域の皆様や事務局が一丸となって取り組むことができ、充実した2日間となりました。

実行委員会の立ち上げから本番まで時間もない中で、各自治会、和牛改良組合そして庄原市をはじめ多くの方のご理解とご協力をいただきました。また、この度はJAひろしまの「第20回庄原みのりの祭典'21」との共催ということで、より充実したイベントとして開催することができました。

地域の皆様には多方面で多大なご協力をいただき、モーモー祭を通して地域の活性化と絆の醸成の一助となったものと確信し、感謝申し上げます。

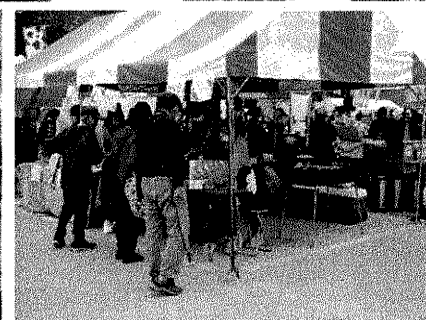
皆様への感謝の気持ちと「第17回口和モーモー祭」の状況をこの度紙面にて振り返り、実行委員会からの特別号として発刊いたしました。皆様方には多大なご協力いただき有難うございました。

第17回 口和モーモー祭実行委員会 会長 清水 孝清





モ—モ—大行進には、
口和町内外
から10頭の牛が
参加しました。





ささえる

「モーモ一祭」は、ステージ出演された方や出展された方はもとより、焼肉会場の運営・牛の出場・駐車場整理・ゴミの分別・トイレ掃除など多くの方にイベントを支えていただきました。

ご協力、感謝申し上げます！



「口和モーモ一祭」の歩み

【昭和57年】

全国和牛能力共進会 12頭出品
グランドチャンピオン 内閣総理大臣賞を受賞

【昭和62年】

全国和牛能力共進会 8頭出品
グランドチャンピオン 内閣総理大臣賞を受賞

【昭和63年】

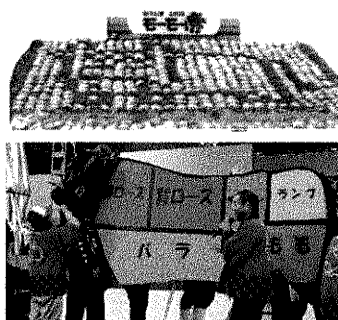
連続チャンピオンを記念して、
第1回モーモ一祭を口和中学校で開催
葉ボタンでシンボルタワーを作る【写真 左上】

【平成6年】

第4回モーモ一祭 口和総合運動公園で開催
隠岐の島から闘牛を招致【写真 右】

【平成22年】

第12回モーモ一祭
口蹄疫のため、手作り牛でモーモ一大行進を実施【写真左下】



闘牛大会

会場では初めて行われた闘牛大会に、多くの観客が参加しました。牛を育ててお世話する方々の努力が、このような大会につながっています。



【平成30年】

第16回モーモ一祭
牛の碁盤乗りが数年ぶりに披露される

【令和2年】

新型コロナウイルス感染症のため開催を延期

【令和5年】

第17回モーモ一祭



次回も会場でお会いしましょう!!!

